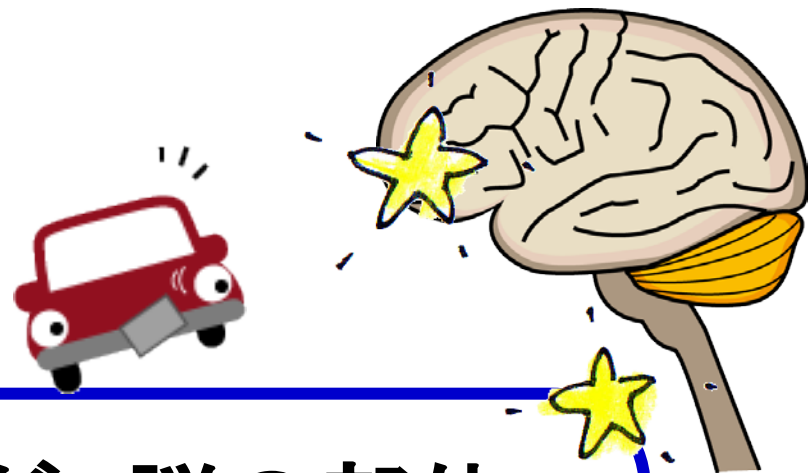


認知症とは？



一度発達した知能が、脳の部位
が変化することにより、広い範囲
で継続的に低下した状態

病名ではない →

原因となる
病気がある

認知症の原因となる病気

現在のところ
治らないもの

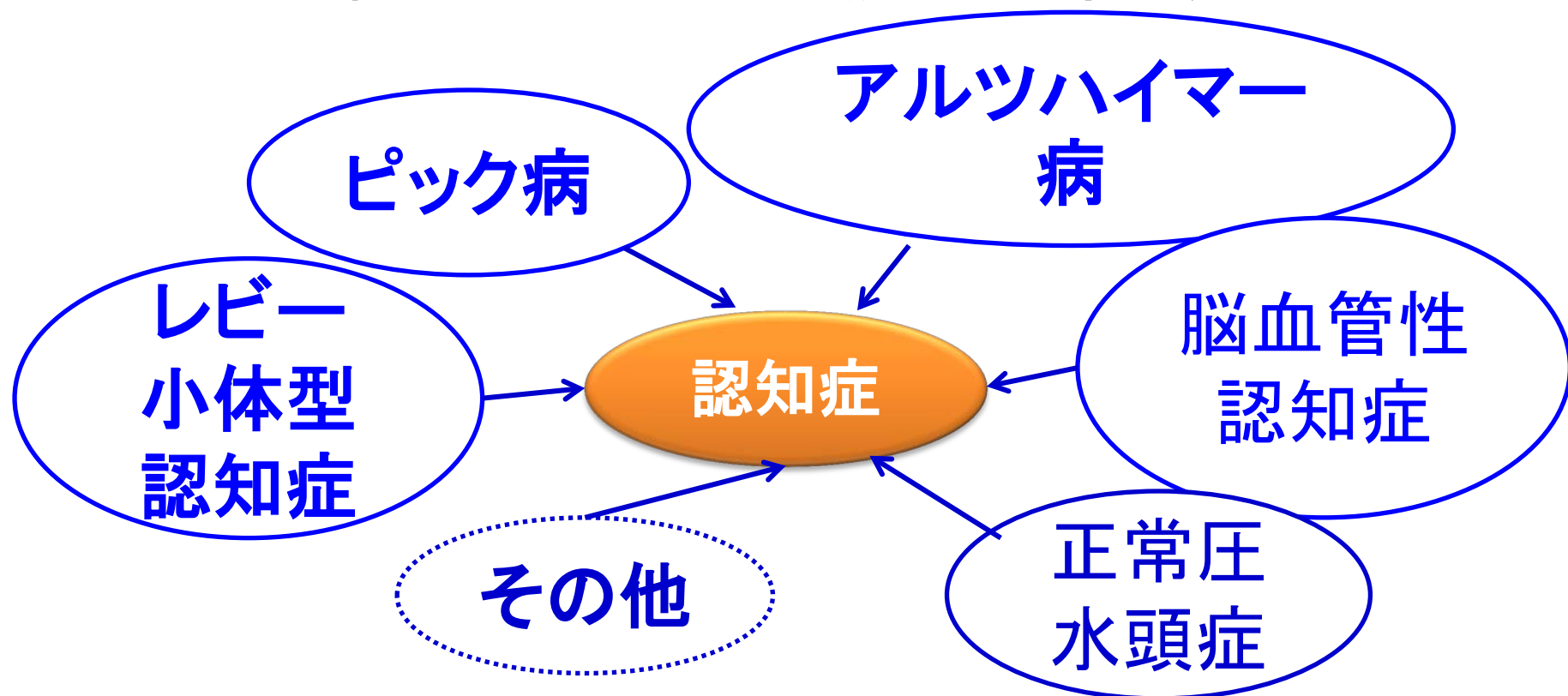
100-300種類以上

治る可能性が
あるもの

甲状腺機能低下によるもの
など

現在のところ

治らない認知症の原因疾患と特徴



進行性

症状は変動する

認知症ケアの考え方

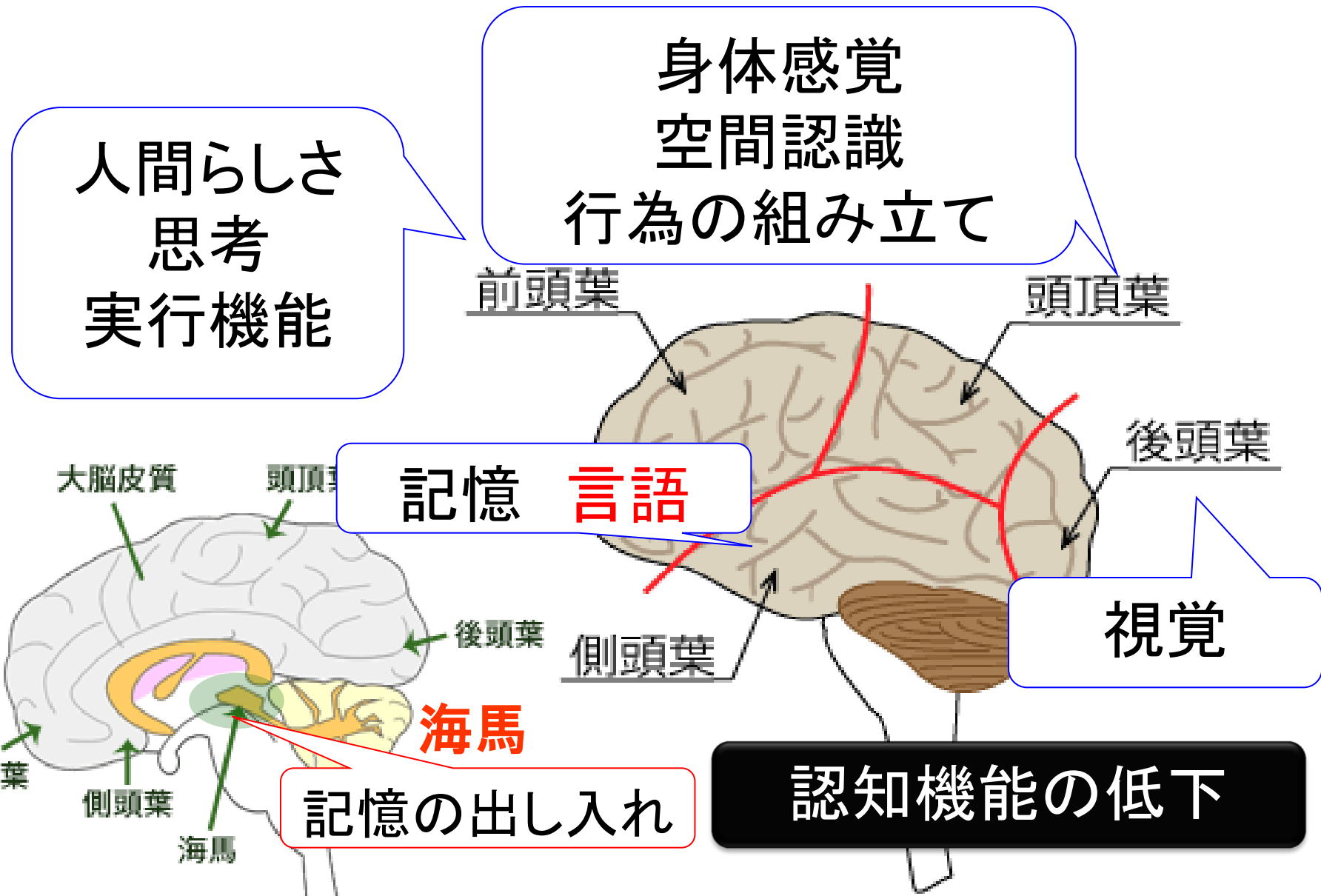
本人と家族の生活基盤を中心



進行する病気とともに、**変動する症状**に対応し、出来るだけ安全・安楽・安心して暮らす

何が苦手で何ができるかをよく観察することが大切
脳のどこが病気によって変化しているか、そのために
何が苦手になるのかを知っておくことも必要

脳の役割:大きく4つに分かれる



認知機能の低下による問題

記憶障害、空間認知、
失語など

認知機能低下

対処難しい

精神症状
行動障害

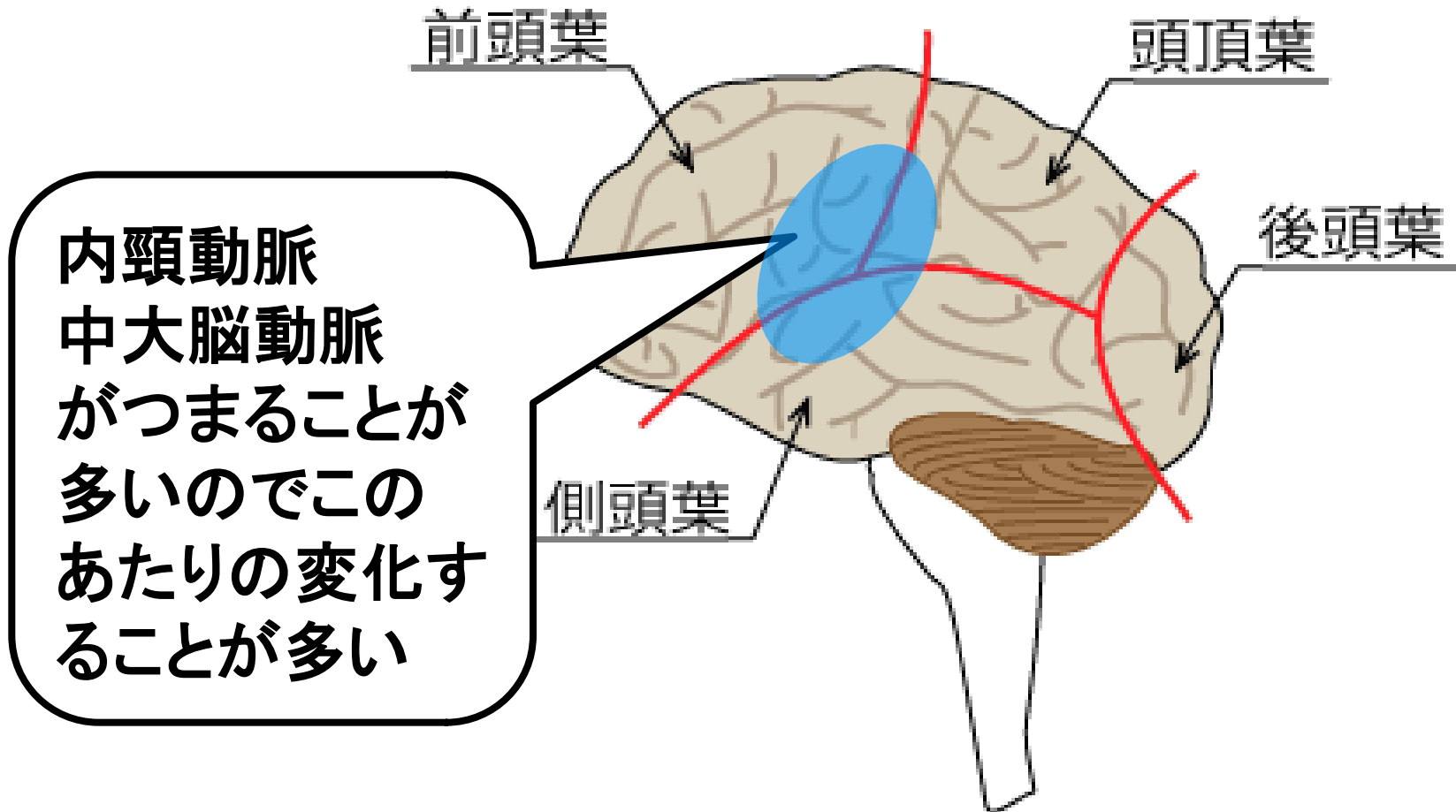
興奮、徘徊
妄想 など

脳のどこが変化するかによって異なる

脳血管性認知症

- 変化する部位は？

出血、梗塞部分がどこになるかによる



脳血管性認知症の主な症状

症状	感情コントロールができない 自発性の低下(傾眠) まだら(鮮明なときもある) (左)半側空間無視 嚥下障害/麻痺
治療	麻痺の有無、程度 脳梗塞防止

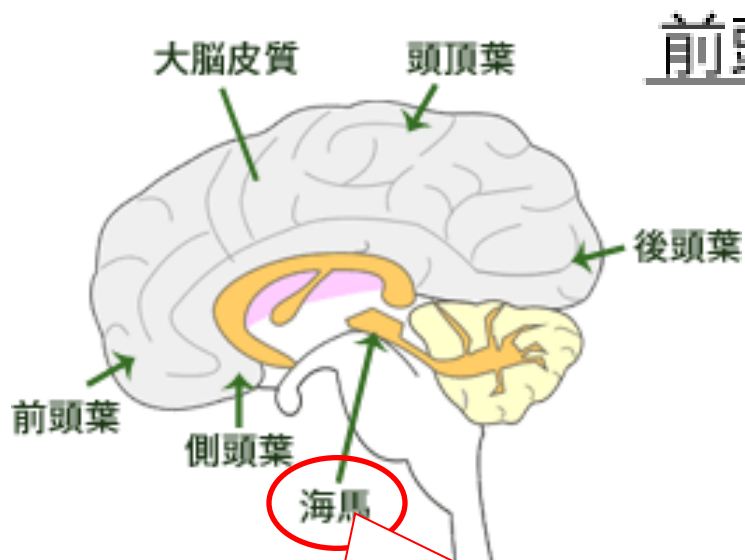
身体的
問題
多い

血圧、血糖、コレステロール

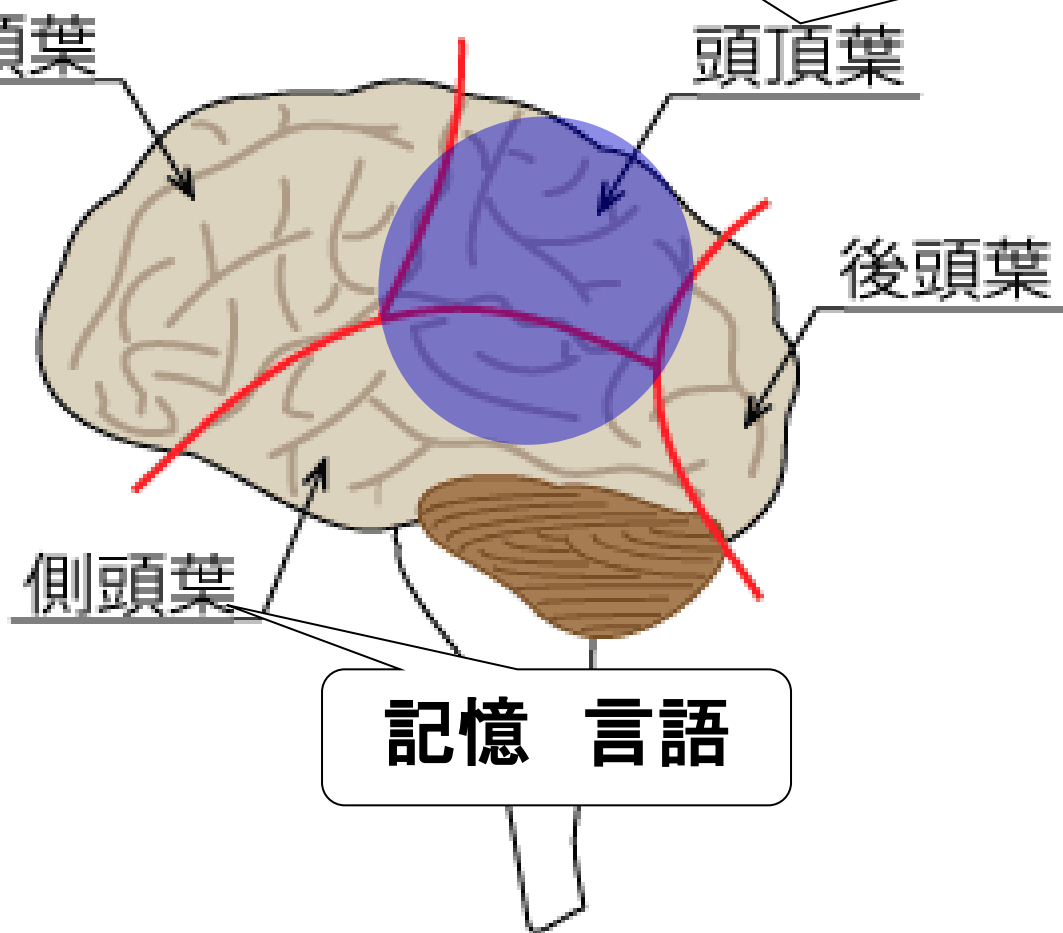
ビンスワンガー病・多発性脳梗塞

アルツハイマー病

身体感覚、空間認識
注意をする・集中する
行為の組立



記憶の形成



- 頭頂、側頭
- 海馬の変化

アルツハイマー病の主な症状

症状	<p>記銘力障害</p> <p>空間性の障害</p> <ul style="list-style-type: none">•バリエーション症候群•定位障害 <p>見当識障害</p> <p>周囲に合わせる</p> <p>物盗られ妄想 注意障害(集中力の低下)</p> <p>など</p>
治療	<p>症状の改善は可能</p> <p>非薬物的療法＋薬物療法の併用</p>

記憶の種類

海馬

記銘: 憶えること
想起: 思い出すこと

海馬

短期記憶	一度で憶えることができるのは平均7個まで ※干渉に弱い (電話の例)	
長期記憶	エピソード記憶	個人の体験 社会的出来事
	意味記憶	個人的な事実 社会的に共有する知識
	手続き記憶	体で覚えた記憶

海馬・側頭葉

側頭葉

大脳基底核、小脳

アルツハイマー病の主な症状

生活への影響が大きい

症状	<p>記銘力障害</p> <p>空間性の障害</p> <ul style="list-style-type: none">• バリント症候群• 定位障害 <p>見当識障害</p> <p>周囲に合わせる</p> <p>物盗られ妄想 注意障害(集中力の低下)</p> <p>など</p>
治療	<p>症状の改善は可能</p> <p>非薬物的療法 + 薬物療法の併用</p>

症状の生活上での確認

症状を観察して**個別性**を確認する

便座に上手く座れない

片方の靴だけ履いている

切符を改札機に入れられない

車庫入れできない

夏なのに冬の服を着ている

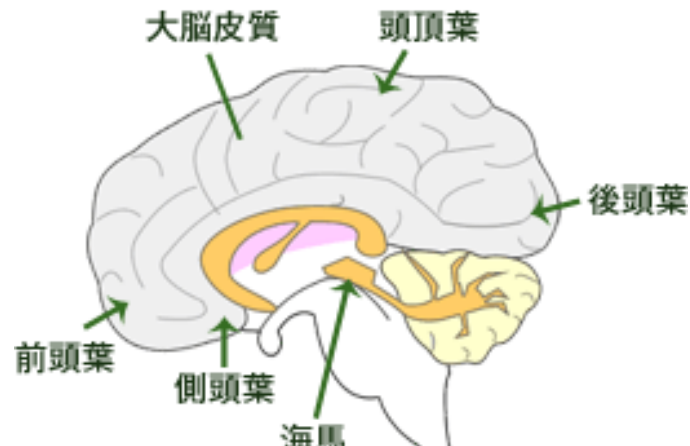
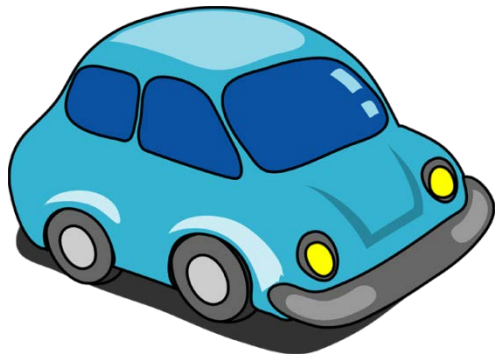
早い段階から失禁

包丁を持ってもらおうと皮むきができる

認知症ケアの方向性

認知症

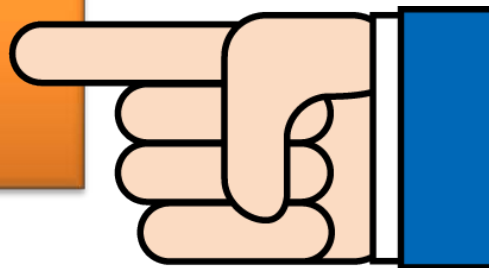
ハード面の不調



脳の病気

パーツがなくても進むけど・・・

無い部品の
埋め合わせ



認知症の治療方法

第一選択は非薬物療法

● 薬物治療

認知機能
低下

認知症の進行を
遅らせる薬

- ・ドネペジル
- ・ガランタミン
- ・リバスチグミン
- ・メマンチン

精神症状
行動障害

認知症の症状を
緩和する

- ・漢方（抑肝散）
- ・その他の精神病薬
（セロクエルは禁忌）